

保護者様

丹波市立柏原中学校
校長 大槻 芳裕

令和3年度全国学力・学習状況調査「柏原中学校の調査結果の概要」

寒冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育に多大なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、5月27日に全国の中学3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果についてその概略をお知らせいたします。今年度の学力調査は、国語・数学と生徒質問紙について行われました。全体の学力を図るものとはなっていませんが、生徒の学力を知る客観的な資料として分析すると共に今後の学習指導に役立てていきたいと考えています。各ご家庭におかれましても、確かな学力の定着に向けご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

1 教科に関する調査内容

国語・数学は①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能、②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等、を一体的に出題されました。

2 国語の結果、及び成果と課題

【結果】 国語は全国の平均正答率と同程度でした。

【成果と課題】

- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、話し合いの話題や方向性、質問の意図を捉える問題は、よくできていました。授業でのペアトークやグループトークなどの成果が出ていると考えられます。
- ・「書くこと」に関しては、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書けていますが、文章の構成の工夫をする力が弱かったです。
- ・「読むこと」に関しては、文章の中の語句の意味を理解し、場面の展開や登場人物の心情、行動に注意して読みながら内容を理解する力が弱いです。また、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ問題の無回答率が高かったです。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関しては、漢字を正しく読む力はついています。継続して漢字テストを行ってきた成果が出ていると考えられます。相手や場に応じた敬語の使い方や伝えたい事柄を効果的に伝えることについて無回答率が高かったです。

3 数学の結果、及び成果と課題

【結果】 数学は全国の平均正答率よりやや低い結果でした。

【成果と課題】

- ・「数と式」の分野では、整式の加法と減法の計算、一元一次方程式を作るなど基本的な問題は定着が見られました。
- ・「関数」の分野では、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取る問題は成果が見られた。説明問題の正答率が低く課題が見られました。
- ・「図形」の分野では、錯角が等しくなるための2直線の位置関係や、おうぎ形の中心角と弧の長さや面積との関係について定着しています。図形の証明を論証する技能に課題が見られました。
- ・「資料の活用」の分野では、学習内容の時期が直近である2年生の終わりに学習したこともあり、他の領域に比べて正答率が高かったです。与えられたデータから中央値を求めるといった具体的な問題に課題が見られました。

4 学習や生活の状況【生徒質問紙調査より】

(1)家庭生活・家庭学習

- ・自分に良いところがあると71%が答えています。人が困っている時に進んで助けると91%が答えています。95%の生徒は人の役に立つ人間になりたいと答えています。これらの数値をより伸ばしていきたいと考えています。
- ・学校の授業以外の学習時間が3時間以上と答えた生徒は9%、2時間以上と答えた生徒は27%、30分よりも少ない・全くしないと答えた生徒が13%います。3年生にとっては自分の進路実現のためには家庭学習の充実は不可欠です。前向きに取り組んでくれることを期待します。

(2)学習意欲

- ・教科毎に授業が好きな生徒の割合は、国語53%、数学47%、英語62%でした。全国平均値と比較すると国語は同程度、数学-12ポイント、英語+6ポイントでした。
- ・国語、数学の勉強は大切だと思いますか。国語89%、数学82%でした。全国平均値と同程度でした。

(3)読書週間

- ・平日1日あたりの読書時間は1時間以上の生徒が11%います。前回の調査（令和元年）に比較すると増えており、全国平均値と同程度です。

(4)ICT

- ・94%の生徒がICT機器の使用が勉強に役に立つと答えています。また、平日1時間以上、ICT機器を勉強のために使っている生徒は22%でした。
- ・携帯電話、スマートフォンやコンピュータ等の使い方について約76%の生徒が家の人と決めたルールを守っていると答えています。平日、テレビゲーム（コンピュータゲーム、スマホ）を3時間以上している生徒が53%います。全国平均値を約20ポイント超えており、長い時間にわたってゲームをしている生徒が多いです。家の人との約束は守られているでしょうか。

(5)新型コロナウイルス感染症

- ・新型コロナウイルスの感染拡大で臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じた生徒は65%でした。また、臨時休校中に計画的に学習を続けることができた生徒は48%でした。どちらの質問も全国の回答値と同程度でした。

5 今後の取組

- ・「学習の構え(学習規律)」を生徒に指導し、生徒が意識して、教室の環境整備や個人ロッカーや机の中、ファイルなど、整理整頓を継続して心がけ、集中して授業に臨める環境作りを行います。
- ・様々な場面で話法(周囲への話し方、説明の仕方)についてスキルを身につけさせるために、ペアトークやグループ活動などの時間や機会を増やし、友だちの意見に耳を傾けたり、自分の思いや意見をしっかりと考えたりしながら、学びが深まるように指導します。
- ・授業の最初にはその時間の「めあて」を板書し、1時間の授業で学ぶことを提示します。授業の終わりには「振り返り」の時間を十分にとり、「めあて」が達成できたか、重要事項が理解できたかを確認します。
- ・授業の中で一人ひとりの生徒が困っている(板書の字の大きさ、色、音など)事を把握し、共通理解を図りながら全教科や学校行事で、個々に指導を行います。
- ・タイミングよく褒めたり、励ましたりすることを全教職員で行い、生徒の意欲を高めていきます。
- ・基礎基本の定着を図るために、適切な課題を宿題に出します。宿題をするだけの家庭学習でなく、学んだことをさらに深める家庭学習を進めるために、家庭学習のやり方についても指導していきます。
- ・各教科で、基礎基本を定着させるための小テストや単元テストを継続して行っていきます。
- ・一人ひとりの生徒と教育相談をしたり、授業をよくするアンケートをしたりしながら、より良い授業に繋がるように教師自身の授業改善と共に生徒の困り感に適切に対応できるように学習への手立てなど行ったり、質問したりする時間や機会を確保していきます。
- ・様々な授業でタブレットやICT機器を活用していきます。生徒自身がさらに効果的に活用できるように指導すると共に校内での使用ルールを継続的に指導していきます。